

2010年10月25日

## プロジェクト報告書

団体名 特定非営利活動法人 あゆみの家

代表 新井奈穂子

### 1. プロジェクト名

第5回 あゆみの家 重度肢体不自由者(児) ホテル宿泊体験

### 2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

あゆみの家で子ども達が生活訓練を重ね、少しずつであるが成果が見える。しかし親も年をとってきていて、急病で突然介護できなくなったり、突然死などで子どもの面倒が見れなくなり、仕方なく病院や施設に預け、他人の中での生活をしていかなければならない例が現実にも数例出ています。日々の生活訓練で親が居なくても生活していけるように少しずつ体得していかなければならない、その為にも環境の違った外での宿泊訓練が必要とされる。

### 3. プロジェクトの内容 300文字まで

22年9月、山梨県、かんぼの宿石和にて一泊宿泊訓練を行ないました。毎年の訓練同様、あゆみの家の親子、パートさん、ボランティアさんと入浴・食事・宿泊訓練を、あゆみの家での生活訓練そのまま場所を変えての実施で、子ども達が新しいホテルでも違う環境でもいつもの状態で訓練出来る様にしたい。今年も、食事形態、一口大食・きざみ食・などホテルに願います。

### 4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

今回も初めての宿泊場所でしたので、事前の実踏が必要でした。お母さんたちで直接行って見て、ホテル内の段差・貸切風呂の予約・車椅子で入りやすい部屋など確認、食事の内容(食事形態)や食事場所なども確認しました。当日はホテル到着、そして昼食、入浴訓練とスムーズに流れて、ホテル側の細かい配慮が見られました。やはり実踏は必要で大切だと感じました。心も体もゆったりした気分で、いつもの生活とあまり変わらず、混乱も無く過ごすことが出来ました。

### 5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

今年はお出発してすぐに大ハプニング発生でした。一人のお母さんが具合が悪くなり高速道路通行途中、談合坂パーキングで引き返すことに… タクシーを呼び子どもと一緒に連れて帰るといいました。具合が悪い上に子どもが居たのではということで子どもさんはそのまま山梨へ、不安の中お母さんと別れましたがちゃんとわかっていて、騒ぐこともなく二日間パートさんやボランティアさん、お母さんたちと静かに過ごせました。これも日々の訓練の成果、まさにあゆみの家がやってきた訓練だったのです。毎年続けて行く事の大事さを実感しました。今回の入浴は、福祉家族風呂をお借りしたので、時間もたっぷり～ しかも内風呂・露天風呂もあり露天風呂デビューのお子さんがほとんど、みんな大喜びでした。そして今回は2回目の男性ボランティアさんと初参加の方と2名参加していただき、入浴介助・食事介助・車イス介助と力を貸してもらい本当に助かりました。二日目のぶどう狩りでは自分でもいだぶどうをお腹いっぱい食べてみんな満足。ありあんすの丘ではレストランにもかかわらず、事前にお願した食事形態、一口大食・きざみ食・など配慮していただき助かりました。今年も宿泊訓練が出来て本当に良かったです。ありがとうございました。

### 6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり ・ 特になし